

研修報告

『2022年度 支援相談員基礎研修』

◆テーマ：『支援相談員のポジショニングとアセスメントの実際』

◇日時：2023年1月21日（土）9：00～2023年2月4日（土）23：55
YouTube オンデマンド配信

◇内容：【講義】

講義①「レジデンシャル・ソーシャルワークにおける支援相談員の実践力」
片山 徹氏（藤田医科大学 保健衛生学部 リハビリテーション学科 准教授）

講義②「利用者や家族を理解するためのアセスメントと聴く力」
加藤 良子氏（日本福祉大学 非常勤講師）

事例提供「支援相談員のアセスメント 面接の実際」
河村 房江氏（介護老人保健施設 あつたの森 支援相談員）

【シンポジウム】

上記3つの動画を視聴した後、先輩支援相談員と講師等による「シンポジウム」形式のセッション。アセスメントの内容に注目して、事例を振り返る。

◇アンケート
コメント紹介◇ ～一部抜粋～

- 普段はアセスメント用紙に沿って、質問記入をしていました。バイオ、サイコ、ソーシャルに分けて考えること、またそのツールを活用して事例をまとめ、アウトプットすることは利用者の理解につながり、真のニーズを導くことにつながると理解しました。
- 新人の頃に自分が何に悩んだのか、失敗したのか、忘れかけているので若い職員の葛藤に十分に向き合えていないと感じています。新任者向け研修は復習にもなるし、指導のための勉強にもなります。
- 病院勤務のため、支援相談員がどのような仕事をしているのかを知ることができました。入所中だけでなく、入所前から退所後までのその人の人生全体を捉えて関わるとということが重要だと学びました。病院のソーシャルワークにも活かしていきたいと思いました。
- 通常の講義とは違い、一度聞いただけでは不明瞭だった部分が巻き戻せて、もう一度拝聴できたり、ゆっくりとスライド資料を拝見したりと、何回も復習できたことが特に良かったと感じました。

支援相談員基礎研修について

介護保険関連研修委員会 池田 寛

今年度はオンデマンドによる研修運営の2年目となりましたが、なかなか準備に取り掛かることができず、締め切りにも間に合わせることができなかつたため、研修一覧に開催告知を掲載していただくことができず、会員の皆様にはご迷惑をおかけしました。

今まで実施していた参集型の研修とは違い、オンデマンドによる研修の実施に、本年度も当委員会としては、様々な苦勞の連続でした。しかし、終わってみれば、根気よくお付き合いいただいた加藤先生や片山先生のお力で、大変好評な講義動画を作成することができました。

また、多忙な中、事例をまとめていただいた河村様のご協力で、丁寧に理解を助ける動画を作成することができました。良い経験ができたと考え、今後の研修運営に活かしていきたいと思っております。

今後も当委員会として、介護保険関連施設に従事する様々な所属施設のソーシャルワーカーに対して、広く参加していただける研修の企画・運営を担っていきたいと考えております。あらためて、当委員会の研修開催にご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。